

15番 市来 洋志 議員

1 新卒者の人材確保について

- (1) 今年度も既に来年度採用の就職活動が本格化している。本市及び周辺の高校を卒業し、進学、就職される生徒も多くみられる。地元の学校を卒業された生徒が地元で就職したい、巣立っていった生徒が地元に戻りたいと思えるような政策はないか示されたい。
- (2) 地元の企業に協力を求め、官民一体となって求人をすべきだと思うが、商工会議所や商工会などと協力し、人材を確保するために取り組んでいることはないかあれば示されたい。
- (3) 現在、企業においては人手不足が嘆かれている。本市で育った子が他所で就職して帰ってこない。自然的人口減少、社会的人口減少が嘆かれている中、食い止める対策として、本市の企業に就職した人に補助をする考えはないか示されたい。

2 公共工事の現状について

- (1) 舗装工事の入札において、本市は登録制としている。これは、国・県道路と比べ路線が多いこと、延長も短くまとまった発注額にならないこと等が理由だと以前、答弁された。他の公共工事に比べ発注件数は少ないと思うが最近の入札金額を見ると大きな発注額になる工事も見られる。市道の老朽化に伴い修繕箇所が増加することが考えられるため、格付けが必要になってくると思うが考えを示されたい。
- (2) 公共工事を施工するに当たり、受注者は準備をし、工事を工期内に済ませ、完成検査を受ける。その間多くの問題点を解決していかなければならない。発注者である行政においても同じだと思うが、受注者に余計な負担がかからないような取組をされているのか示されたい。